

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	
科目番号	101	科 目 名	社会人基礎力講座			科目区分	兼任
科 目 群	一般教養	担当講師	相原 芳美			履修区分	選択
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書				参考書			
成績評価	平常点 30 点、課題 10 点、テスト 60 点						

1. 授業概要

- ・マナーやコミュニケーションなどの基礎的な社会性（社会人基礎力）を身につける
- ・就職に対する意識を高め、就職活動に向けての準備をする

2. 到達目標

- ・マナーやコミュニケーションなど社会人として必要な力や心構えについて、その重要性を理解している
- ・基礎的なマナー（挨拶、お礼、言葉遣い）を理解し、実践できている
- ・コミュニケーション力（発信力・傾聴力）が、講座開始時よりも向上している
- ・自分の長所や短所など、就職活動に必要なアピールポイントを概ね理解している
- ・就職活動に対する意識が高まり、準備すべき事柄（書類を書く、エントリーする等）を理解している
- ・就職先を検討するのに必要な労働法の基礎について理解している

3. 授業計画

後期	
1	SMBC 特別講座 SMBC コンシューマーファイナンス（株）
2	着こなし講座
3	オープニングガイダンス・社会人基礎力とは？・個人ワーク「社会人基礎力と3つの自立」 ・キャリアデザインとは？
4	・社会人とは？社会人の役割とは？・個人ワーク「学生と社会人の違い」・マナーとは？
5	マイナビ説明会 （株）マイナビ
6	・マナーの実践・個人ワーク「敬語の使い方」・電話のかけ方の練習
7	・コミュニケーション力とは？・コミュニケーションの重要性と機能（発信と傾聴）・相手にわかりやすく伝えるコツ・相手の話を理解するために必要なこと・代表者によるコミュニケーションゲーム
8	・思考に必要な柔軟さと論理性・課題解決とは？・個人ワーク「イチロー君の課題を解決しよう」
9	・社会人に必要な「当事者意識」・チームで成果を出すプロセス・個人ワーク「Teamwork と Action のセルフチェック」
10	・自己理解の必要性と自己概念・私はどんな人？・コミュニケーションスタイル
11	・個人ワーク「自分のことをふりかえる」（ライフライン・得意なこと・影響を受けた人）・キャリアアンカー
12	・就職活動の流れとスケジュール・就職と就社の違い、応募企業の選び方・就職活動に必要な書類（履歴書とエントリーシート）
13	・会社の仕組み、会社が求める人材とは？・ハウレンソウとPDCA・志望理由の伝え方（仕事・会社の2つの視点）・最低限知っておくべき労働法
14	・面接で聞かれること・個人ワーク「自己PR」と「志望理由」・面接の心構え・面接練習（模擬面接またはロープレ）
15	期末試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	102	科 目 名	特別講義			科目区分	
科 目 群	教養	担当講師	各企業より招集（統括：鈴木 和弘）			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	担当講師都度配布			参考書	（同左）		
成績評価	提出課題 50%及び平常点や授業への貢献度 50%の合算数値により評価						

1. 授業概要

放送業界における多様な職種において、現役スペシャリストより肝要な知識を習得する。
--

2. 到達目標

経験者より奥深い知識を得ることで現状の足場を固め一層成長し、自身の将来像を描く。
--

3. 授業計画

後期	
1	特別講義の意義と受講の心構え
2	番組制作の現場と音声の仕事
3	スタジオ技術及び編集・MA
4	報道カメラマンとは
5	電気の基礎技術と国際通信
6	ニュースと報道番組の違い
7	実地における映像編集とは
8	4K8K 放送の撮影編集現場と DIT
9	報道中継と特殊撮影機材（特機）の運用例
10	報道編集マンの仕事とは
11	スポーツ中継映像とスポーツ ENG 映像の違いと役割
12	BS4K8K 放送の現状と将来
13	マスター業務とは
14	中継業務とは
15	放送関連技術企業への就職就業とは
16	放送関連技術企業の研究
17	職域としての各企業説明と求められる人物像

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	放送映像学科
科目番号	103	科 目 名	メディア制作概論		科目区分	
科 目 群	教養	担当講師	諏訪 道彦 他		履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態
教 科 書				参考書	講師作成資料	
成績評価	授業に取り組む姿勢 60% レポート 40%					

1. 授業概要

アニメ制作の視点からプランニングからプロデュースの行程や作品が出来るまでの宣伝やマネタイズの手法などの授業を行う ゲスト講師を招きメディアの今後を考察する

2. 到達目標

アニメ制作の歴史や現状を理解し、今後「送り手」となりたいみなさんがどんな展望を持っていけばいいのか考えるきっかけにさせていただきたく。さらに現役で実際にアニメ業界に関わる ゲスト講師をお呼びして、チームワークで作品やプロジェクトを成していくリアルな現場を感じてもらい、学生のみなさんの将来像を考えてもらえればと思っています。

3. 授業計画

前期	
1	授業ガイダンス アニメがメディア業界にどのように影響しているか
2	劇場版名探偵コナンをテーマにアニメへの興味を共有する
3	アニメーション制作①
4	アニメーション制作②
5	講師ゲスト①
6	講師ゲスト②
7	アニメーション制作③
8	講師ゲスト③
9	講師ゲスト④
10	アニメーション制作④
11	講師ゲスト⑤
12	講師ゲスト⑥
13	アニメーション制作⑤
14	ビジネスとして成立する企画手法と解説
15	メディア制作概論総評
16	
17	

科目の教育目標・授業計画「2024年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	104	科 目 名	基礎演習			科目区分	
科 目 群	教養	担当講師	斉藤 みゆん			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	演習
教 科 書				参考書	30 時間でマスターWord2019・Excel2019		
成績評価	各回で作成した課題提出 80%、授業態度 20%						

1. 授業概要

学内での連絡ツールである Outlook メール、Teams アプリなどの使い方から、PC 基本操作レベルの確認をしながら、必要最低限の PC スキルの向上を図ると共に、Word・Excel ソフトを使用し文章作成・表計算などの基本特性を理解する

2. 到達目標

Word・Excel の基本特性を理解した上で、文章作成のスキルを習得し、番組制作の際の資料を作成

3. 授業計画

前期	
1	Outlook について：メール作成・返信・宛先
2	PC 基本操作：ショートカットキー、ファンクションキー
3	Word①：（文章作成）：文字入力、記号入力、文字レイアウト
4	Word②：表の作成、画像の挿入、図形の作成
5	Excel①：（表作成）：文字入力、表の罫線、計算機能、連続データの入力、行の挿入・削除
6	Excel②：画像の挿入、図形の作成、時間割の作成、料金表の作成
7	Word・Excel 共通：保存方法、ここまでの復習、メールに添付
8	Excel③：Excel を使って、スケジュール表作成
9	Word③：Word を使って、お知らせ文章を作成してみよう
10	Word④：Word を使って、自分新聞作成してみよう
11	Word⑤：〃
12	Word または Excel を使って、チラシを作ってみよう
13	〃
14	Word または Excel を使って、求人票を作ってみよう
15	〃
16	Word まとめ：不得意操作の確認と解説
17	Excel まとめ：不得意操作の確認と解説

科目の教育目標・授業計画「2024年度」						学 科 名	該当学科
科目番号		科 目 名	一般教養講座Ⅰ			科目区分	
科 目 群		担当講師	沢田雄太・麻生裕之			履修区分	講義
開講学年	1 年	開講学期	前 期	単位数	2	授業形態	選択
教 科 書	プリント			参考書			
成績評価	各課題の成績と出席を総合評価。						

1. 授業概要

基礎学力の向上と就職試験対策を目的として、過去に学習した範囲の数学と漢字の復習を行います。また、新聞記事を読んで設問に答える新聞読解も行います。

2. 到達目標

就職試験の初歩的な教養問題が解ける。

3. 授業計画

前期			
1	漢字：読み取り・書き取り①	数学：正負の数の足し算/引き算	読売ワークシート
2	漢字：読み取り・書き取り②	数学：正負の和の掛け算/割り算	読売ワークシート
3	漢字：形が似ている漢字	数学：四則の混じった計算	読売ワークシート
4	漢字：同音異義語・同訓異字	数学：①～③のまとめ	読売ワークシート
5	漢字：敬語表現・熟語	数学：文字式の足し算/引き算	読売ワークシート
6	漢字：類義語・対義語	数学：文字式の掛け算/割り算	読売ワークシート
7	漢字：ことわざ・慣用句	数学：文字式のいろいろな計算	読売ワークシート
8	漢字：三字熟語・四字熟語	数学：⑤～⑦のまとめ	読売ワークシート
9	漢字：音読み・訓読み①	数学：1次方程式①	読売ワークシート
10	漢字：間違いやすい漢字①	数学：1次方程式②	読売ワークシート
11	漢字：学習漢字の音訓	数学：1次方程式③	読売ワークシート
12	漢字：熟語の成り立ち・読み方	数学：比例式	読売ワークシート
13	漢字：故事成語・名言格言	数学：⑨～⑫のまとめ	読売ワークシート
14	漢字：間違いやすい漢字②	数学：円とおうぎ形	読売ワークシート
15	漢字：まとめ	数学：立体の表面積	読売ワークシート
16			
17			

科目の教育目標・授業計画「2024年度」						学 科 名	該当学科
科目番号		科 目 名	一般教養講座Ⅱ			科目区分	
科 目 群		担当講師	沢田雄太・麻生裕之			履修区分	講義
開講学年	1 年	開講学期	後 期	単位数	2	授業形態	選択
教 科 書	プリント			参考書			
成績評価	各課題の成績と出席を総合評価。						

1. 授業概要

基礎学力の向上と就職試験対策を目的として、過去に学習した範囲の数学と漢字の復習を行います。また、新聞記事を読んで設問に答える新聞読解も行います。

2. 到達目標

就職試験の初歩的な教養問題が解ける。

3. 授業計画

後期			
1	漢字：一字漢字の読み・書き①	数学：多項式計算	読売ワークシート
2	漢字：一字漢字の読み・書き②	数学：単項式の計算	読売ワークシート
3	漢字：一字漢字の読み・書き③	数学：式の値/等式の変形	読売ワークシート
4	漢字：熟語の読み・書き①	数学：①～③のまとめ	読売ワークシート
5	漢字：熟語の読み・書き②	数学：連立方程式①	読売ワークシート
6	漢字：熟語の読み・書き③	数学：連立方程式②	読売ワークシート
7	漢字：複数の音読み・訓読み	数学：連立方程式③	読売ワークシート
8	漢字：誤りやすい読み・書き	数学：⑤～⑦のまとめ	読売ワークシート
9	漢字：同訓異字・同音異義語	数学：1次関数①	読売ワークシート
10	漢字：二字熟語	数学：1次関数②	読売ワークシート
11	漢字：三字熟語	数学：1次関数③	読売ワークシート
12	漢字：四字熟語	数学：⑨～⑪のまとめ	読売ワークシート
13	漢字：類義語	数学：平行線と角	読売ワークシート
14	漢字：対義語	数学：三角形の角	読売ワークシート
15	漢字：まとめ	数学：多角形の角	読売ワークシート
16			
17			

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	共通	
科目番号		科 目 名	日本語講座 I		科目区分	専任	
科 目 群	教養	担当講師	小野 恭子		履修区分	選択	
開講学年	1	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	「日本語能力試験ドリル&模試」他			参考書	読解、聴解プリントおよびデジタル教材		
成績評価	試験 50%、小テスト 10%、課題（プロジェクトワークを含む）20%、関心・意欲・態度 20%						

1. 授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。
オンライン教材での予習を前提とした授業です。

2. 到達目標

・能力別クラスでの Can-do リストに沿って、日本語の4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）を伸ばし、総合的な日本語力を身に付ける。

3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション、Can-do 自己評価チェック、レベルチェックテスト（言語知識・読解）
2	予習：読解のコツ、漢字 W1、ミニ講座 1、レベルチェックテスト（聴解）
3	予習：読解第 1 回、漢字 W2、ミニ講座 2、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
4	予習：聴解第 1 回、漢字 W3、ミニ講座 3、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
5	予習：読解第 2 回、漢字 W4、ミニ講座 4、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
6	予習：聴解第 2 回、漢字 W5、ミニ講座 5、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
7	予習：読解第 3 回、漢字 W6、ミニ講座 6、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
8	予習：聴解第 3 回、漢字 W7、ミニ講座 7、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
9	予習：読解第 4 回、漢字 W8、ミニ講座 8、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
10	中間テスト（JLPT 模試）
11	予習：聴解第 4 回、漢字 W1-2、ミニ講座 9、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
12	予習：読解第 5 回、漢字 W3-4、ミニ講座 10、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
13	予習：聴解第 5 回、漢字 W5-6、ミニ講座 11、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
14	予習：読解第 6 回、漢字 W7-8、ミニ講座 12、 ディクテ、ミニ講座タスク、プロセスライティング「スピーチ原稿」
15	ピア・リーディング「スピーチ原稿」
16	期末テスト、Can-do 自己評価チェック
17	追再試、補講、スピーチ発表

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	共通	
科目番号		科 目 名	日本語講座Ⅱ		科目区分	専任	
科 目 群	教養	担当講師	小野 恭子		履修区分	選択	
開講学年	1	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	「日本語能力試験ドリル&模試」他			参考書	読解、聴解プリントおよびデジタル教材		
成績評価	試験 50%、小テスト 10%、課題（プロジェクトワークを含む）20%、関心・意欲・態度 20%						

1. 授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。
オンライン教材での予習を前提とした授業です。

2. 到達目標

・能力別クラスでの Can-do リストに沿って、日本語の4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）を伸ばし、総合的な日本語力を身に付ける。

3. 授業計画

後期	
1	予習：読解第1回、語彙 W1、ミニ講座1、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
2	予習：聴解第1回、語彙 W2、ミニ講座2、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
3	予習：読解第2回、語彙 W3、ミニ講座3、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
4	予習：聴解第2回、語彙 W4、ミニ講座4、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
5	予習：読解第3回、語彙 W5、ミニ講座5、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
6	予習：聴解第3回、語彙 W6、ミニ講座6、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
7	予習：読解第4回、語彙 W7、ミニ講座7、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
8	予習：聴解第4回、語彙 W8、ミニ講座8、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
9	予習：読解第5回、語彙 W1-2、ミニ講座9、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
10	中間テスト（JLPT 模試）
11	予習：聴解第5回、語彙 W3-4、ミニ講座10、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
12	予習：読解第6回、漢字 W5-6、ミニ講座11、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
13	予習：聴解第6回、漢字 W7-8、ミニ講座12、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
14	プロジェクトワーク：「学科紹介」
15	プロジェクトワーク：「学科紹介」ジグソー型で発表
16	期末テスト、Can-do 自己評価チェック

17	追再試、補講、入学前サポート「学科紹介」発表リハーサル
----	-----------------------------

科目の教育目標・授業計画「2025 年度」					学 科 名	共通
科目番号	109	科 目 名	社会人教養講座Ⅰ		科目区分	
科 目 群	教養	担当講師	天野 誠一		履修区分	
開講学年	1、2 年	開講学期	前期	単位数	授業形態.	
教 科 書	使用しない			教材・参考資料 適宜、資料配布		
成績評価	課題提出その他					

1. 授業概要

この講座では、社会人として第一歩を踏み出すに必要な、働くことの意味について次のテーマに従って分かりやすく解説します。

- 1) 労働法とは何か、2) 働き始める前に知っておかなければならないこと、3) 働くときのルール、4) 仕事を辞めるとき、辞めさせられるとき、5) 就職の仕組みに関して

講義は、講師側が一方的に話をして終わりという形ではなく、皆さんにも一緒に考えてもらい、質問も遠慮なくしていただきます。

2. 到達目標

正しい情報をつかみ、判断力を養う。自分の考えをまとめ、積極的に発信していく。社会人としての教養を身につける。

3. 授業計画

前期 1	2024 年年はどういう年か。世界の人口は 80 億人。地球の誕生から。 人類の誕生から
2	世界の課題①地球温暖化 脱炭素 カーボンニュートラル
3	日本の課題①人口減少世界一 このままだと人口が半減する 少子高齢化
4	世界の課題②生物多様性の危機 絶滅危惧種 SDG s
5	日本の課題②エネルギー基本計画 化石燃料を使わない 原発は
6	日本の課題③東京一極集中 消滅する地方
7	世界の課題③防衛 地政学的な問題 ウクライナ ガザ
8	日本の課題④政治とカネ 政治資金規正法 民主主義
9	働くということ 1 残業は必要なのか 最低賃金とは
1 0	働くということ 2 正規か非正規か 働き方改革
1 1	働くということ 3 失業したら 仕事でけがをしたら
1 2	働くということ 4 万一解雇されたら
1 3	作文演習
1 4	作文演習
1 5	まとめ 日本の未来

科目の教育目標・授業計画 「2025 年度」

科目の教育目標・授業計画「2025 年度」					学 科 名	共通
科目番号	110	科 目 名	社会人教養講座Ⅱ		科目区分	
科 目 群	教養	担当講師	天野 誠一		履修区分	
開講学年	1、2 年	開講学期	後期	単位数	授業形態	
教 科 書	使用しない			教材・参考資料 適宜、資料配布		
成績評価	課題提出その他					

1. 授業概要

この講座では、社会の仕組み、そして今の日本が抱える諸課題について分かり易く説明するとともに、皆さんが学んだ専門知識や技術を存分に活用し、有意義な社会生活を送って行くために必要なノウハウを、アドバイスしていきます。

また、消費者教育として、個人の消費行動とそこの起こるトラブルについて認識し、新しいライフスタイルを主体的に選択し、創造できるようにする。

2. 到達目標

正しい情報をつかみ、判断力を養う。自分の考えをまとめ、積極的に発信していく。社会人としての教養を身につける。

3. 授業計画

後期 1	総論 人類の歴史 宇宙の歴史 物の見方 新しい動き
2	3つの危機 温暖化 多様性 人口減少
3	税金、年金、健康保険 知らないと損をする。
4	新聞の役割 社会に欠かせないもの リアルな現場に真実がある
5	犯罪と日本の警察
6	会社の選び方 いい会社と悪い会社
7	自己アピールの方法 面接の心構え エントリーシート
8	消費者トラブル ネット犯罪
9	著作権と AI 個人情報
1 0	危機管理の重要性 いざとなったらどうするのか 失敗から学ぶ ミスの原因 メモをとる
1 1	食の未来 食料自給率 有機農業
1 2	社会の仕組み IT 企業の戦略
1 3	作文演習 民主主義と選挙
1 4	作文演習 情報の信頼性 正しい情報はどこから得られるか
1 5	全体まとめ 世界の未来は

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	201	科 目 名	スタジオ実習Ⅰ			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	榎本 悟・菅谷正之・丸山美樹			履修区分	必修
開講学年	1	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	実習
教 科 書	なし（都度参考資料配布）			参考書	（同左）		
成績評価	通年の授業への貢献度、前期（筆記実技試験）後期（実技試験）での総合判断						

1. 授業概要

スタジオ番組制作実習を通してテレビ制作での用語やルール、機材の取り扱いを理解し、チームワークの大切さ、仕事の楽しさを学ぶ。そして当校の番組スタジオ実習室を活用し実習授業を積み重ねることで、来るべき未来に即戦力としてプロの現場で活躍できるよう学生らに意識の用意を促すよう、より実践的で先端的な授業を展開する。

2. 到達目標

1年次中に自分たちの判断で機材を扱え実習が行える様になるまで基礎技術を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	授業説明 安全について スタジオ機材説明体験 名前 CG テロップ作成
2	ペDESTALカメラ練習（パン・ズーム・フォーカス・ドリー）8の字巻体験
3	照明概論 照明機器説明 音声ミキサー卓実習（マイク 音出し）
4	CAM SW MIX 実践（自己紹介を兼ねたインタビュー形式の対談でSW体験）
5	CAM SW MIX 実践（自己紹介を兼ねたインタビュー形式の対談でSW体験）
6	人物サイズ説明 TALL/ RET/インカム説明 ハンディーカメラ体験
7	人物サイズ説明 TALL/ RET/インカム説明 ハンディーカメラ体験
8	番組制作体験実習 ゲームでSW体験（叩いてかぶってジャンケンポン）
9	番組制作体験実習 ゲームでSW体験（イントロクイズ）
10	番組制作体験実習 ゲームでSW体験（早押しクイズ）
11	番組制作体験実習 ゲームでSW体験（フリップ解答式クイズ）
12	音声ケーブル、カメラケーブル8の字巻き実習
13	歌番組でSWカメラ強化（ドリーワーク・ハンディーカメラ）照明強化 音声卓強化(N-1)
14	歌番組でSWカメラ強化（ドリーワーク・ハンディーカメラ）照明強化 音声卓強化(N-1)
15	前期筆記&実技試験（カメラサイズ等の用語）（音声ケーブル8の字巻き）
16	
17	
後期	
1	スタジオ簡易ドラマ体験実習
2	スタジオ簡易ドラマ体験実習
3	歌番組で総合制作 カメラ強化（ドリーワーク・ハンディーカメラ）照明強化 音声卓強化(N-1)
4	歌番組で総合制作 カメラ強化（ドリーワーク・ハンディーカメラ）照明強化 音声卓強化(N-1)
5	2元中継（中継）SW強化（ワイプ） 照明強化 音声強化(掛け合い) (N-1)
6	2元中継（中継）SW強化（ワイプ） 照明強化 音声強化(掛け合い) (N-1)
7	2元中継（中継）SW強化（ワイプ） 照明強化 音声強化(掛け合い) (N-1)
8	番組制作体験実習（クイズ・トーク・バラエティー番組
9	番組制作体験実習（クイズ・トーク・バラエティー番組
10	スタジオドラマ制作実習
11	スタジオドラマ制作実習
12	歌番組で総合制作 カメラ強化（ドリーワーク・ハンディーカメラ）照明強化 音声卓強化(N-1)
13	歌番組で総合制作 カメラ強化（ドリーワーク・ハンディーカメラ）照明強化 音声卓強化(N-1)
14	カメラケーブル8の字巻き&ロープワーク実習
15	後期実技試験（カメラケーブル8の字巻き&ロープワーク）
16	
17	

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	202	科 目 名	音声実習			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	荒井 吉春・田中 健治			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業への関心度 30%、実習試験による評価と実習授業理解度 70%						

1. 授業概要

テレビ番組においての音声の收音方法を基本的な機器操作や技術を習得し、講師の経験から各種番組のノウハウを理解する

2. 到達目標

学生全員が音声を担当しても困らない水準の音声技術を習得する

3. 授業計画

前期	
1	録音とは、マイクとは、ケーブルの種類を説明
2	各種音声コネクタの説明とケーブルの巻き方の指導
3	マイクとポータブルミキサーの操作方法の解説
4	ポータブルミキサーミキシング実習 1
5	ポータブルミキサーミキシング実習 2
6	スタジオの音声機器の解説と各機器の操作方法
7	音声調整卓の操作方法の説明
8	音声調整卓の操作実習
9	ポータブルミキサーと Boom(竿)での ENG 收音の実習 1
10	ポータブルミキサーと Boom(竿)での ENG 收音の実習 2
11	音声調整卓を使ってピンマイクと卓上マイクの模擬会見の実習 1
12	音声調整卓を使ってピンマイクと卓上マイクの模擬会見の実習 2
13	音声調整卓を使ってピンマイクと卓上マイクの模擬会見の実習 3
14	前期のまとめ①
15	前期のまとめ②
16	前期のまとめ③
17	前期期末試験
後期	
1	スタジオブームドリーの使用方法の実習
2	Boom(竿)での收音の解説とドラマでの台詞の録音実習 1
3	Boom(竿)での收音の解説とドラマでの台詞の録音実習 2
4	MA(Multi Audio)とは
5	DAW(ProTools)の使い方 1 (基礎)
6	DAW(ProTools)の使い方 2 (セッションの作り方)
7	DAW(ProTools)の使い方 3 (トラックとは)
8	DAW(ProTools)の使い方 4 (インポートとは)
9	DAW(ProTools)の使い方 5 (整音とは)
10	DAW(ProTools)の使い方 6 (効果音の取り込み)
11	DAW(ProTools)の使い方 7 (音楽の取り込み)
12	DAW(ProTools)の使い方 8 (トラックダウンの設定)
13	DAW(ProTools)の使い方 9 (トラックダウン 1)
14	DAW(ProTools)の使い方 10 (トラックダウン 2)
15	DAW(ProTools)の使い方 10 (トラックダウン 3)
16	後期まとめ
17	後期期末試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	203	科 目 名	ノンリニア編集			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	植竹邦央、山道源喜、石川和音			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	特になし			参考書	独自の配付資料有り		
成績評価	後期実技試験と出席率を加味し総合評価						

1. 授業概要

- 1 段階的な映像編集の実習を通して基礎の編集技術を身につけ、映像への興味を養う
- 2 現役編集者の実技指導によって編集の面白さと楽しさ、そして難しさを知り、専門職への夢を持たせる
- 3 映像を編集することにより構成能力、表現能力、感受性を磨く

2. 到達目標

映像を編集する為の構成能力、表現能力、感受性が向上する。

3. 授業計画

前期	
1	編集ブースの割り振り、基本的な用語の説明、編集機の取り扱い、基礎講座
2	カラーバーやクレジットの作成および編集機の取り扱い
3	レベル1「カフェテラス」2カットを編集する 編集ソフトの取り扱いに慣れる
4	レベル2「カフェテラス ロング ver」時間と空間の削除を意識し5カットを尺指定で編集する
5	レベル2「カフェテラス ロング ver」時間と空間の削除を意識し5カットを尺指定で編集する
6	レベル3「ランチ」時間と空間の削除を意識し5カットを尺指定で編集する（復習）
7	レベル3「ランチ」時間と空間の削除を意識し5カットを尺指定で編集する（復習）
8	レベル4 レベル2・3で使った素材を使ってシーンの変わり目とシーケンスを意識する
9	レベル4 レベル2・3で使った素材を使ってシーンの変わり目とシーケンスを意識する
10	レベル4 レベル2・3で使った素材を使ってシーンの変わり目とシーケンスを意識する
11	レベル5「野球」イマジナリーライン意識の編集（編集時間30分で終了を目指す）
12	レベル5「野球」イマジナリーライン意識の編集（編集時間30分で終了を目指す）
13	レベル5「談笑」イマジナリーライン意識の編集（編集時間30分で終了を目指す）
14	レベル5「談笑」イマジナリーライン意識の編集（編集時間30分で終了を目指す）
15	編集技術前期総合トレーニング①
16	編集技術前期総合トレーニング②
17	編集技術前期総合トレーニング③
後期	
1	レベル6 リポート編集の基礎練習
2	レベル7 「彼岸花」リポート形式による編集
3	レベル7 「彼岸花」リポート形式による編集
4	レベル7 「彼岸花」リポート形式による編集
5	レベル8 「バンジージャンプ」リポート形式による編集
6	レベル8 「バンジージャンプ」リポート形式による編集
7	レベル8 「バンジージャンプ」リポート形式による編集
8	レベル9 「よさこい祭り」リポート形式による編集
9	レベル9 「よさこい祭り」リポート形式による編集
10	レベル9 「よさこい祭り」リポート形式による編集
11	レベル10 「雪の大谷」リポート形式による編集
12	レベル10 「雪の大谷」リポート形式による編集
13	レベル10 「雪の大谷」リポート形式による編集
14	レベル10 「雪の大谷」リポート形式による編集
15	編集技術総合振り返り①
16	編集技術総合振り返り②
17	編集技術総合振り返り③

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	放送映像学科	
科目番号	204	科 目 名	E N G ロケ取材基礎		科目区分	実務経験教員	
科 目 群	専門	担当講師	富岡 三隆 梶田一郎 田中 健治		履修区分	必修	
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	映像制作ハンドブック			参考書	授業の内容に応じ補足として都度配布		
成績評価	期末試験 50%及び平常点や授業への貢献度 50%の合算数値により評価						

1. 授業概要

E N Gカメラ及びフィールド3 C Hミキサーの操作を確実に理解し、基本的な撮影方法を習得する。

2. 到達目標

それぞれの撮影機材の用途及び基本操作を理解し、必須装備として利活用できるよう成長する。

3. 授業計画

前期	
1	【ガイダンス】受講心得と趣旨説明 E N G解説 放送機材(カメラ及び三脚)の構造と取り扱い方法
2	【E N G概念】色温度及びT C(タイムコード)説明 「表現」の根源である5 W 1 Hの解説
3	【撮影基礎①】撮影実習～テーマに沿った題材を撮影し「伝える」表現の根底を理解する～
4	【撮影基礎②】実習後撮影素材評価 基本的なカメラオペレーションの習熟訓練実施
5	【撮影基礎③】業務用小型カメラ及び三脚の構造と取り扱い方法
6	【撮影基礎④】撮影実習～テーマに沿った題材を撮影し「伝わったかどうか」の結果を理解する～
7	【撮影基礎⑤】実習後撮影素材評価 カメラオペレーションの更なる向上のため習熟訓練実施
8	【録音基礎①】ガンマイク及びフィールド3 C Hミキサーの取り扱い方法
9	【録音基礎②】ガンマイク及びフィールド3 C Hミキサーの取り扱い方法 E N Gカメラとの結線
10	【総合基礎①】撮影実習～テーマに沿った題材を撮影し確実に「伝わる」表現を習得する～
11	【総合基礎②】撮影実習～展示企画における絵画撮影を通じ静態描写を理解する～
12	【総合基礎③】実習後撮影素材評価 カメラ及びミキサーオペレーションの更なる向上のため習熟訓練実施
13	【総合基礎④】各機材アクセサリ説明及び使用時効果解説
14	【前期復習①】前期習得した各理論における総復習及び筆記試験補足解説
15	【前期復習②】前期習得した各技術における総復習及び実技試験補足解説
16	【前期考查①】筆記試験
17	【前期考查②】実技試験

科目の教育目標・授業計画 「2025年度」

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	放送映像学科	
科目番号	205	科 目 名	E N G ロケ取材実習			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	富岡 三隆 梶田一郎 田中 健治			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	映像制作ハンドブック			参考書	授業の内容に応じ補足として都度配布		
成績評価	期末試験 50%及び平常点や授業への貢献度 50%の合算数値により評価						

1. 授業概要

前期で学んだことを生かし、主旨やテーマを確実に「伝える」「伝わる」ための方法論を会得する。

2. 到達目標

作品制作の過程を理解しそして完成させ、更に伝えることに重きを置いた表現者となるよう成長する。

3. 授業計画

後期	
1	前期の復習】前期習得した各理論及び各技術における総復習 カメラオペレーションの習熟訓練実施
2	照明基礎①】照明機材説明 効果解説及び取り扱い方法
3	照明基礎②】撮影実習～照明を使用しその効果を実感する 人物及び物撮り(湯気の出し方)～
4	総合演習①】撮影実習～すべての要素を含んだ様々なテーマで実践収録Ⅰ～
5	総合演習②】撮影実習～すべての要素を含んだ様々なテーマで実践収録Ⅱ～
6	総合演習③】中継車実習～中継車を用いた大規模舞台(ミュージカル)撮影実施～
7	総合演習④】中継車実習～撮影素材評価及び中継車実習における肝要な気づきの再確認～
8	総合演習⑤】撮影実習～90秒の動画作品制作 企画会議～
9	総合演習⑥】撮影実習～90秒の動画作品制作 ロケーションハンティング～
10	総合演習⑦】撮影実習～90秒の動画作品制作 取材Ⅰ～
11	総合演習⑧】撮影実習～90秒の動画作品制作 取材Ⅱ～
12	総合演習⑨】撮影実習～作品鑑賞及び品評～
13	2年次対応】撮影特機概要説明及び実践
14	後期復習①】後期習得した各理論における総復習及び筆記試験補足解説
15	後期復習②】後期習得した各技術における総復習及び実技試験補足解説
16	後期考查①】筆記試験
17	後期考查②】実技試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	放送映像学科	
科目番号	206	科 目 名	コンテンツ制作Ⅰ			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	原田千夢			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	演習
教 科 書	なし			参考書	なし		
成績評価	課題作品 70%、平常点 30%						

1. 授業概要

パソコンを用いた実習で、放送映像学科で用いるアプリケーションソフトの基本的な使い方を学ぶ。

2. 到達目標

放送機材の基本的な取扱い方とパソコンの基本操作ができるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	Photoshop の操作概要
2	基本操作① 選択と色調
3	基本操作② 画像の加工・ロゴの改変
4	基本操作③ 写真の加工・合成
5	異本操作④ 文字の表現
6	紹介カード制作① レイヤーの理解
7	紹介カード制作② レイヤースタイル
8	サムネイル制作① 顔の大きさを揃える
9	サムネイル制作② テーマを表現する
10	Illustrator の基本操作 パーツの合成機能などを用いてイラストを描く・図形でキャラクターの作成
11	Illustrator の基本操作
12	Illustrator の基本操作 鉛筆ツールを使用してキャラクターの作成 1
13	Illustrator の基本操作 鉛筆ツールを使用してキャラクターの作成 2
14	Illustrator の基本操作 ペンツールで文字のトレース
15	Illustrator で広告作成
16	Photoshop と Illustrator の連携
17	Photoshop と Illustrator の連携

科目の教育目標・授業計画 「2025年度」

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	放送映像学科	
科目番号	207	科 目 名	コンテンツ制作Ⅱ			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	原田千夢			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	演習
教 科 書	なし			参考書	なし		
成績評価	課題作品 70%平常点 30%						

1. 授業概要

After Effects、Premiere Pro の使用方法を正しく理解する。

2. 到達目標

映像コンテンツの素材が作成できるようになる。

3. 授業計画

後期	
1	Adobe Premiere Pro の基本操作①映像のカットの仕方
2	Adobe Premiere Pro の基本操作②テロップの挿入方法
3	Adobe Premiere Pro の基本操作③エフェクトの適用
4	Adobe Premiere Pro を用いて 1 分程の映像作品を編集①
5	Adobe Premiere Pro を用いて 1 分程の映像作品を編集②
6	Adobe Premiere Pro を用いて 1 分程の映像作品を編集③
7	After Effects を用いての総合作品制作① 動画・静止画の使用 人物を消す
8	After Effects を用いての総合作品制作② 動画・静止画の使用 エフェクトを用いる
9	After Effects を用いての総合作品制作③ 動画・静止画の使用 ドラマで使える合成①
10	After Effects を用いての総合作品制作④ 動画・静止画の使用 ドラマで使える合成②
11	After Effects を用いての総合作品制作⑤ 動画・静止画の使用 ドラマで使える合成③
12	After Effects を用いての総合作品制作⑥ 動画・静止画の使用 ドラマで使える合成④
13	複数の動画の合成① 光線のエフェクトの作成
14	複数の動画の合成② 人物の動きに合わせたエフェクトの作成①
15	複数の動画の合成③ 人物の動きに合わせたエフェクトの作成②
16	アプリケーション操作総合トレーニング 1
17	アプリケーション操作総合トレーニング 2

科目の教育目標・授業計画 「2025年度」

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	放送映像学科	
科目番号	208	科 目 名	企画演出論		科目区分		
科 目 群	専門	担当講師	高橋 巖		履修区分	必修	
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	筆記試験						

1. 授業概要

企画がどうやって開発され、それがどのようなプロセスで世に出ていくのかを、演出的な視点に立って解説していく。身近に感じられるように実際の例などを交えて、単なる知識で終わらないような授業を試みる。

2. 到達目標

企画や演出の意味や、それを把握する道筋を習得する。

3. 授業計画

前期		
1	企画って何?① 演出って何?①	発想、リサーチ、構成
2	企画って何?② 演出って何?②	完成作から週上する
3	企画書って何?① 演出力って何?①	経済視点、承認プロセス
4	企画書って何?② 演出力って何?②	実際の企画書を分析
5	企画の肝 演出の技	企画の強度、モラル、影響力
6	具体化の重要性 コンセプト、キャラクター、時代設定、最終イメージ	
7	プレゼンテーションって何?	魅力を伝える技術
8	映像言語を学ぼう①	フレームサイズ、画角、アングルが意味するもの
9	映像言語を学ぼう②	カメラが動く意味、カメラが動かない意味
10	映像言語を学ぼう③	影や色味が作る世界観
11	映像と音響について学ぼう①	編集プロセス
12	映像と音響について学ぼう②	画と音の相乗効果
13	映像と音響について学ぼう③	効果音、フォーリーアーティスト、MA/ダビング
14	企画して演出するとは(振り返り)	
15	前期末試験	
16		
17		

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	209	科 目 名	企画演出実習			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	小中 和哉			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	課題提出される脚本、企画書、構成案、スケジュール表の評価平均点 80%及び平常点や授業への貢献度 20%						

1. 授業概要

テレビ番組、映画の制作で使われる企画書、脚本、構成案、スケジュール表などを作成できる能力を身に付ける。

2. 到達目標

希望職種に関わらず企画制作の過程を理解する。

3. 授業計画

前期	
1	脚本実習① シナリオの書き方・読み方 小説をシナリオにしてみる① 解説
2	実際のシナリオとの比較 作品鑑賞 小説をシナリオにしてみる②
3	実際のシナリオとの比較 作品鑑賞
4	企画書実習 解説 企画書作り① プロットまで
5	企画書作り② プレゼンまで
6	企画書作り③ プロットまで
7	企画書作り④ プレゼンまで
8	シナリオ作り① キャラクターの構築
9	シナリオ作り② シナリオ作成
10	字コンテ実習 解説 字コンテ書き①
11	画コンテ実習 解説 画コンテ書き①
12	プリビズ実習 解説
13	字コンテ実習 解説 字コンテ書き②
14	画コンテ実習 解説 画コンテ書き②
15	字コンテ実習 解説 字コンテ書き③
16	画コンテ実習 解説 画コンテ書き③
17	プリビズ実習 解説
後期	
1	企画書実習 解説 企画書作り⑤ プロットまで
2	企画書作り⑥ プレゼンまで
3	シナリオ作り① 箱書き
4	シナリオ作り② シナリオ作成
5	スケジュール表実習 スケジュール表書き① 通し香盤・総合
6	スケジュール表書き② Day・衣裳・小道具
7	スケジュール表書き③ 道路使用・機材
8	制作シミュレーション実習 脚本分析
9	本読み・立ち稽古
10	立ち稽古
11	コンテ書き
12	カメラワーク実習①
13	カメラワーク実習②
14	カメラワーク実習③
15	2年実習用脚本作成①
16	2年実習用脚本作成②
17	2年実習用脚本作成③

科目の教育目標・授業計画 「2025年度」

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	放送映像学科	
科目番号	210	科 目 名	美術講座			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	高野 雅裕			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	無し			参考書	必要に応じて提示		
成績評価	授業への貢献度 50 % ・ 発表課題 50 %						

1. 授業概要

テレビ番組の「美術」を理解し、詳しい知識・必要な基礎スキルを学ぶ！

2. 到達目標

「テレビ美術」を理解することで、番組制作に於ける美術（セット・ロケ道具）への円滑な発注スキルを身につける！

3. 授業計画

後期	
1	ガイダンス：講師自己紹介・年間スケジュール・テレビ美術とは
2	「美術」の仕事フロー・現放送中ドラマ紹介・セットデザイン実例～
3	様々な「美術」の仕事・役割・言葉を紹介
4	学生「自己紹介」・セットデザインについて（図面・パース・表現・色）
5	バラエティー美術について（ロケ番組・トーク番組・クイズ番組・歌番組・コント）現役デザイナー講師
6	音楽番組・歌セットを描いてみよう！（好きなアーティストのデザイン）
7	セット（課題）の講評
8	映画・撮影所・テレビスタジオについて テレビ局比較・歴史・美術史について
9	ドラマ・映画美術について・現役デザイナー講師
10	ドラマセット（身近な空間）を描いてみよう！
11	セット（課題）の講評
12	大道具・小道具・衣装・メイク・特殊効果（美術協力会社について）・TVer・Netflix 他、配信への対応と取り組み
13	民放番組制作に於いての、スポンサーへの配慮（プロップデザイン）・SDGs の取り組み・危機管理
14	作りたい番組を構想し「美術（ロケ・セット）」へ発注① 美術との関わり方（制作）
15	作りたい番組を構想し「美術（ロケ・セット）」へ発注① 美術との関わり方（実践）
16	講評（美術を発注するポイント）・演出における美術セットと円滑な発注
17	「テレビにおける美術」まとめ・今後の美術の取り組み・3DCG デザイン他・制作手法の変化（高精細 LED ビジョン）

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	211	科 目 名	インターンシップ			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	各企業先技術者（統括：鈴木和弘）			履修区分	選択
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	1	授業形態	実習
教 科 書	なし（企業研修のため）			教材・参考書 なし（企業研修のため）			
成績評価	一週間程度の企業研修に参加し、学びについてのレポート提出により評価						

1. 授業概要

実際の各現場を体験することを目的とした校外企業研修制度参加者への成績評価及び単位付与。

2. 到達目標

学校では決して学ぶことができない「最前線の現業」を経験し、未来像を具象化することに役立てる。
--

3. 授業計画

後期	
1	企業内及び各現業実地における研修並びに参加後レポート作成提出
2	(以下同文)
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	注) 企業研修制度のため実際の授業回数と異なる

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	放送映像学科
科目番号	212	科 目 名	技術基礎		科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	鈴木 和弘		履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態
教 科 書	講師作成テキスト			参考書		講義
成績評価	筆記試験 100%					

1. 授業概要

電気基礎や基礎単位を理解することにより、映像、音声、照明などの仕組みと放送機材全般に関連する操作や監視に必要な基礎知識を学ぶ
--

2. 到達目標

映像音響技術について容易に理解できるようになる

3. 授業計画

前期	
1	電気基礎ガイダンス、S I 単位系について
2	電気関連のS I 単位と、単位に関わる接頭語について
3	明かりの単位 ルクス、カンデラ、ルーメン
4	光源の色温度
5	直流と電圧 電位 1 次電池 2 次電池
6	直流と交流電源の特徴
7	周波数と周期
8	電気回路基礎 Ω の法則 序説
9	直列閉回路 並列閉回路
10	抵抗回路の基礎、合成抵抗、電圧分割、消費電力
11	電気回路における記号の基礎
12	電子部品 コンデンサ、半導体、LED、変圧器
13	デジタルデータ・アナログデーターの概念
14	アナログデジタル変換と 2 進法
15	デジタルの基礎 デジタルデータの単位 2 進法 16 進法 10 進法
16	技術基礎 前期レビュー
17	期末試験
後期	
1	技術基礎試験問題解説。
2	信号の伝送に要する線数と不平衡・平衡回路
3	映像音声機器間の信号接続 1
4	映像音声機器間の信号接続 2
5	音声信号の AD 変換
6	音波の速度
7	デシベルの概念について
8	デシベルの応用と例題の解説
9	電気音響技術でのデシベル応用
10	音響の基礎
11	スタジオ音響とホール音響の特性
12	電波の種類と特徴。地上波デジタル放送
13	電波の周波数帯域 BS 4K8K 放送
14	様々な用途のデジタル映像
15	技術基礎後期レビュー
16	技術基礎 総括
17	期末試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	213	科 目 名	放送技術概論			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	鈴木 和弘			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	ポストプロダクション技術マニュアル			参考書	講師作成テキスト		
成績評価	筆記試験 100%						

1. 授業概要

テレビ映像音声の基本原理及びデジタル信号、放送用機材の基本的な仕組みを理解する。
--

2. 到達目標

放送分野の制作業務に必要な、様々な基礎的知識を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	放送概論ガイダンス
2	動画の原理、テレビジョンの基本原理
3	走査線の概念と同期信号
4	光と色彩の知識、色温度について
5	色の3原色と3属性について
6	レンズの基礎
7	レンズの知識(絞り)
8	レンズの知識(被写界深度) レンズの基礎まとめ
9	カメラ内での信号処理について (撮像素子、ガンマ)
10	カメラ内での信号処理について (ホワイトバランス、ニー、ホワイトクリップ、ディテール)
11	映像信号の基礎。波形モニターの見方と映像調整
12	マイクの取り扱いについて
13	世界各地の放送規格。コンポーネント信号、コンポジット信号について
14	SD 信号と HD 信号の接続と転送について、SDI、IP
15	前期放送概論レビュー
16	前期放送概論レビュー
17	前期期末試験
後期	
1	放送概論試験問題解説
2	デジタルビデオ信号の仕組みについて
3	放送用マスターモニターについて
4	VTR に関する基礎と映像音声データ基礎
5	映像音声データ運用に関する知識
6	タイムコードの基礎知識
7	スイッチャーと映像特殊効果について
8	ゲンロック (同期結合) の概念
9	信号用コネクター盤について、パッチ盤の仕組み
10	映像関連の信号処理機材について
11	インカムシステムの仕組みについて
12	ミキシングコンソールとオーディオエフェクターの概要
13	デジタルミキサとアナログミキサの特徴について
14	映画フィルムからビデオへの変換技術、デジタルシネマの概要。劇場音響システム
15	デジタルシネマとテレビ放送の技術的な特徴について
16	後期放送概論レビュー
17	後期期末試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	214	科 目 名	テレビ音声			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	荒井 吉春			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業への貢献度 30%、実習試験による評価と実習授業理解度 70%						

1. 授業概要

テレビ音声の役割を理解させ他の部署との協調性を常に保つよう指導して音声の基礎と機器の操作方法を習得する

2. 到達目標

テレビ音声の業務内容と技術を理解する

3. 授業計画

前期	
1	テレビ音声とはどのような科目なのかを具体的に説明
2	テレビにおける音声の役割と仕事の解説
3	ケーブルとコネクター、収録機の説明
4	マイクロフォンの種類および使い方の説明
5	ポータブルミキサーの使い方の説明 1
6	ポータブルミキサーの使い方の説明 2
7	スタジオ音声機器の説明
8	スタジオ音声機器の使い方の解説
9	音声調整卓の説明
10	音声調整卓の使い方
11	ENG の音声の仕事①
12	ENG の音声の仕事②
13	ENG の音声の仕事③
14	前期のまとめ 1
15	前期のまとめ 2
16	前期のまとめ 3
17	期末試験
後期	
1	ENG の音声の仕事 1
2	ENG の音声の仕事 2
3	ドラマの音声 1
4	ドラマの音声 2
5	情報番組の音声 1
6	情報番組の音声 2
7	中継番組の音声
8	音楽番組の音声
9	PA の説明とスタジオにおける簡易 PA
10	ポスプロにおいての音声
11	MA 1
12	MA 2
13	MA 3
14	後期のまとめ 1
15	後期のまとめ 2
16	後期のまとめ 3
17	期末試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	215	科 目 名	スタジオ実習 II			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	高梨、菅谷、丸山			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	実習
教 科 書	なし（都度参考資料配布）			参考書	（同左）		
成績評価	平常点や授業の貢献度 65% 番組制作課題作品の評価 35%						

1. 授業概要

実習毎に設定されるテーマに応じて番組制作をグループ毎に行い、より実践的なスタジオ番組制作技術を習得する。そして当校のスタジオを活用し実習授業を積み重ねることで、来るべき未来に即戦力として活躍できるよう生徒の成長を促す。高梨先生は日本テレビのスタジオ業務におけるテクニカルディレクターとして40年以上の経験があり、その高い経験値を最大限実習授業に反映させ、より実践的で先端的な授業を展開する。

2. 到達目標

テレビ番組制作に関わる人材として通用する技能と意識を身に付ける

3. 授業計画

前期	
1	自己紹介を行い、その自己紹介の模様を収録する
2	各種ケーブルの巻き方、カメラレンズの脱着の方法を学習する
3	カメラの移動方法（ペDESTAL操作）を学習する
4	人物を撮影する際の各サイズを学習する
5	人物への照明の当て方、音の取り方を学習する
6	一人しゃべり、二人対談の撮影方法を学習する
7	三人対談、四人対談の撮影・音声・照明の各技術を学習する
8	五、六人時の対談撮影方法を学習する
9	ババ抜き(トランプ)を撮影する
10	特機であるクレーン使用し、そのクレーンワークを学習する
11	歌番組を制作し、撮影・音声・照明の各技術の能力を向上させる
12	紙芝居を撮影して撮影・音声・照明動かない物を撮影する事の難しさを学習する
13	生配信の番組を制作して学習する
14	クイズ番組を制作して完パケの番組の創り方を学習する
15	バンドを入れてライブの撮影をする
16	前期まとめⅠ
17	前期まとめⅡ
後期	
1	オリジナル番組を制作する 歌番組
2	オリジナル番組を制作する カードゲーム (UNO)
3	オリジナル番組を制作する 石膏を使つての撮影
4	オリジナル番組を制作する 石膏を使つての撮影
5	オリジナル番組を制作する 円形状の対談を撮影
6	オリジナル番組を制作する 料理番組 企画・準備
7	オリジナル番組を制作する 料理番組 企画・準備
8	オリジナル番組を制作する 料理番組 本番
9	オリジナル番組を制作する 生放送番組 企画、準備
10	オリジナル番組を制作する 生放送番組 企画、準備
11	オリジナル番組を制作する 生放送番組 本番
12	オリジナル番組を制作する ドラマ
13	オリジナル番組を制作する ドラマ
14	オリジナル番組を制作する 学校コマーシャル
15	オリジナル番組を制作する 学校コマーシャル
16	カメラの移動方法(ペDESTAL操作)を復習し能力を更に向上させる学習する
17	カメラワークとサイズを復習し能力を更に向上させる

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	216	科 目 名	デジタルエフェクト			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	大和 拓			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	通期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	なし			参考書	なし		
成績評価	課題作品評価 60%平常点や授業への貢献度 40%						

1. 授業概要

アフターエフェツ（アプリケーション）を使った映像表現の技術を習得する。

2. 到達目標

デジタル映像処理の基礎を理解し、作品づくりの基礎と心構えを習得する。

3. 授業計画

前期	
1	授業内容のガイダンス。基礎知識確認。
2	AE 基本操作解説。
3	AI 基礎技術練習。練習課題 1 時計。
4	練習課題 1 時計続き。
5	AI 基礎技術練習。練習課題 2 観覧車。
6	練習課題 2 観覧車続き。
7	練習課題 2 観覧車続き。
8	PS 基礎技術練習。練習課題 3 踊る名前。
9	課題 4 走る動物。
10	課題 4 走る動物続き。
11	課題 4 走る動物続き。
12	課題 4 走る動物続き。
13	AE 基礎技術解説。練習課題 5 惑星と衛星。
14	AE 基礎技術解説。練習課題 6 箱。
15	練習課題 6 箱続き。
16	自由制作
17	自由制作
後期	
1	練習課題 7 光る剣
2	練習課題 7 光る剣。続き。
3	練習課題 7 光る剣。続き。
4	エフェクト解説。
5	課題 8 フットサルチーム紹介。
6	課題 8 フットサルチーム紹介。続き。
7	課題 8 フットサルチーム紹介。続き。
8	課題 8 フットサルチーム紹介。続き。
9	課題 8 フットサルチーム紹介。続き。品評会。
10	課題 1 1 架空のテレビ番組オープニング。
11	課題 1 1 架空のテレビ番組オープニング。続き。
12	課題 1 1 架空のテレビ番組オープニング。続き。
13	課題 1 1 架空のテレビ番組オープニング。続き。
14	課題 1 1 架空のテレビ番組オープニング。続き。
15	品評会。総括。
16	自由制作
17	品評会。総括。

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	217	科 目 名	撮影技術実習(音声・照明)			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	荒井 吉春、加藤昭比古			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	《音声》平常点や授業への貢献度 (30%)、実習試験による評価と実習授業理解度 (70%) 《照明》授業での機器操作習熟度 (30%)・試験結果 (50%)・出席状況 (20%)						

1. 授業概要

- ・テレビ番組における撮影技術と音声の集音方法の為の機器操作や技術を習得する。
- ・各照明器具の特徴・操作。パネル・幕類のセッティング。安全対策。具体的な照明シーンの作り方。

2. 到達目標

- ・ドラマ制作におけるの撮影方法、録音方法やCM作りでのMA技術を身に付ける。
- ・器具や周辺機器を正しく安全に使用し作業がスムーズに行える。卒業制作の照明プランが作成出来る様に。

3. 授業計画

前期	
1	ドラマ撮影の準備／撮影現場の確認(照明スイッチ・ブラインド等) 照明器具のセッティング点灯方法。
2	ドラマ撮影 1／総合演習「山小屋」照明例
3	ドラマ撮影 2／教室内でグリーンバックセッティングと照明例
4	ドラマ撮影 3／総合演習撮影中オリジナル作品①照明例
5	ドラマ撮影 4／教室内でパネル建込みと飾り付け 様々なシーン設定による照明例
6	ドラマ撮影 5／JPPA 対策
7	ドラマ撮影 6／JPPA 対策
8	ドラマ MA 1 整音／各照明器具(LED・HMI・蛍光灯・タングステン等) 特徴・取扱い方法
9	ドラマ MA 2 整音／反射・遮光について レフ板・カポック・ポールキャット・フラッグ・アクセサリーの使い方
10	ドラマ MA 3 整音／総合演習撮影中オリジナル作品②照明例
11	ドラマ MA 4 選曲／人物タイトショットの対応 物撮り・湯気出し・撮影環境作り
12	ドラマ MA 5 選曲／イブニング・デイシーン照明例
13	ドラマ MA 6 MIX／ナイトシーン照明例
14	ドラマ MA 7 MIX／まとめ①照明作業手順と操作方法の復習。
15	ドラマ MA 8 MIX／まとめ②照明操作試験
16	完成鑑賞①／まとめ③照明作業手順と操作方法の復習。
17	完成鑑賞②／照明操作試験
後期	
1	30 秒 CM 作り 1(制作工程説明)／屋外ロケの対応 反射・遮光・バッテリー器具の取扱い
2	30 秒 CM 作り 2(コンテ、原稿作り)／各照明器具の特徴と操作方法の復習
3	30 秒 CM 作り 3(コンテ、原稿作り)／照明プラン作成方法 シーン別機材の選択例
4	30 秒 CM 作り 4(コンテ、原稿作り)／卒業制作照明シミュレーション①
5	30 秒 CM 作り 5(映像作り)／卒業制作照明シミュレーション②
6	30 秒 CM 作り 6(映像作り)／卒業制作照明シミュレーション③
7	30 秒 CM 作り 7(映像作り)／卒業制作照明プラン作成 機材表作成①
8	30 秒 CM 作り 8(映像編集)／卒業制作照明プラン作成 機材表作成②
9	30 秒 CM 作り 9(映像編集)／卒業制作撮影①
10	30 秒 CM 作り 10(MA)／卒業制作撮影②
11	30 秒 CM 作り 11(MA)／卒業制作撮影③
12	30 秒 CM 作り 12(MA)／卒業制作撮影④
13	30 秒 CM 作り 13(MA)完成鑑賞 1／卒業制作撮影⑤
14	完成鑑賞 1／卒業制作撮影⑥

1 5	完成鑑賞 2／今年度のまとめ 照明作業手順と操作方法の復習①
1 6	卒業制作：MA1／今年度のまとめ 照明作業手順と操作方法の復習②
1 7	卒業制作：MA2／照明操作試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	放送映像学科	
科目番号	217	科 目 名	撮影技術実習(音声)			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	荒井 吉春			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業への貢献度 30%、実習試験による評価と実習授業理解度 70%						

1. 授業概要

テレビ番組における撮影技術と音声の集音方法の為の機器操作や技術を習得する。

2. 到達目標

ドラマ制作におけるの撮影方法、録音方法や CM 作りでの MA 技術を身に付ける。

3. 授業計画

前期	
1	ドラマ撮影の準備
2	ドラマ撮影 1
3	ドラマ撮影 2
4	ドラマ撮影 3
5	ドラマ撮影 4
6	ドラマ撮影 5
7	ドラマ撮影 6
8	ドラマ MA 1 整音
9	ドラマ MA 2 整音
10	ドラマ MA 3 整音
11	ドラマ MA 4 選曲
12	ドラマ MA 5 MIX
13	ドラマ MA 6 MIX
14	完成鑑賞①
15	完成鑑賞②
16	
17	
後期	
1	30 秒 CM 作り 1 (制作工程説明)
2	30 秒 CM 作り 2 (コンテ、原稿作り)
3	30 秒 CM 作り 3 (コンテ、原稿作り)
4	30 秒 CM 作り 4 (コンテ、原稿作り)
5	30 秒 CM 作り 5 (映像作り)
6	30 秒 CM 作り 6 (映像作り)
7	30 秒 CM 作り 7 (映像作り)
8	30 秒 CM 作り 8 (映像編集)
9	30 秒 CM 作り 9 (映像編集)
10	30 秒 CM 作り 10 (MA)
11	30 秒 CM 作り 11 (MA)
12	30 秒 CM 作り 12 (MA)
13	30 秒 CM 作り 13 (MA)
14	完成鑑賞 1
15	完成鑑賞 2
16	
17	

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	217	科 目 名	撮影技術実習(照明)			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	加藤昭比古			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	実習
教 科 書	なし			参考書	なし		
成績評価	授業での機器操作習熟度（30％）・試験結果（50％）・出席状況（20％）						

1. 授業概要

各照明器具の特徴・操作。パネル・幕類のセッティング。安全対策。具体的な照明シーンの作り方。

2. 到達目標

器具や周辺機器を正しく安全に使用し作業がスムーズに行える。卒業制作をより良い作品に出来る様に。

3. 授業計画

後期	
1	屋外ロケの対応 反射・遮光・バッテリー器具の取扱い
2	各照明器具の特徴と操作方法の復習
3	照明プラン作成方法 シーン別機材の選択例
4	卒業制作照明シミュレーション①
5	卒業制作照明シミュレーション②
6	卒業制作照明シミュレーション③
7	卒業制作照明プラン作成 機材表作成
8	卒業制作撮影①
9	卒業制作撮影②
10	卒業制作撮影③
11	卒業制作撮影④
12	卒業制作撮影⑤
13	卒業制作撮影を照明で振り返る
14	今年度のまとめ 照明作業手順と操作方法の復習
15	照明操作試験
16	
17	

科目の教育目標・授業計画 「2025年度」

科目の教育目標・授業計画					「2025年度」		学 科 名	放送映像学科
科目番号	217	科 目 名	撮影技術実習(演出)			科目区分		
科 目 群	専門	担当講師	金田 龍			履修区分	必修	
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	実習	
教 科 書	なし			参考書	なし			
成績評価								

1. 授業概要

--

2. 到達目標

--

3. 授業計画

前期	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	218	科 目 名	アートクリエイティブ実習			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	川田 直樹			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	通年	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	講師作成資料			参考書			
成績評価	筆記試験 100%						

1. 授業概要

映像美術の基本を実践的に習得する他、映像作り全体から見たものの作りの考え方の習得。

2. 到達目標

美術のパートはもとより他のパートにも必要な映像美術の基礎知識の習得。物作りの考え方の習得。

3. 授業計画

前期	
1	映像美術の分業について 仕事におけるの安全性の確保① 時間の考え方
2	仕事におけるの安全性の確保②美術パートの工具や道具 持道具のつながり
3	台本を元に作成される美術パートの資料。様々な香盤表
4	美術パート、消え物について 台本を読むに当たり大切な因果関係、
5	空間の序列、上座、下座について 小道具 桐の箱の扱い方
6	模擬撮影① 台本の読み方捉え方 スタッフの編成と準備
7	模擬撮影② 1時間限られた時間での撮影
8	模擬撮影③ 1時間限られた時間での撮影 プロの進め方
9	検証 各班ごとの異なる様々な表現
10	大道具 建具(襖や障子)について 小道具 掛け軸の扱い方。
11	装飾パート 家具の扱い方や運び方。美術や小道具におけるキャラクター表現。
12	平面図、イメージ画を自ら描き、図面の見方を学ぶ
13	セットの空間(日本間)の各パーツの名称。各撮影所や各テレビ局の異なる基準。
14	20年後、映像業界に必ずおとずれる重要なテーマ
15	短編映像作品(約30分)から映像作り全体を学ぶ
16	
17	
後期	
1	映像美術と舞台美術の比較。ライブ映像における舞台美術。
2	イベント、音楽フェスによる美術パートの仕事。
3	映画、ドラマ、バラエティ、情報番組の美術パートの作業の違い。
4	卒業制作を控えての美術パートの準備の進め方①
5	〃 ②
6	〃 ③
7	映像美術のよごし作業について
8	卒業制作の実践。作品作りの準備や撮影①各班(作品)ごと
9	〃 ② 〃
10	〃 ③ 〃
11	〃 ④ 〃
12	〃 ⑤ 〃
13	〃 ⑥ 〃
14	卒業制作を振り返って①
15	〃 ②
16	卒業後について。仕事に対する取り組み方や考え方。
17	1年間の美術の授業について、卒制と映像美術について2種類のレポート①

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	放送映像学科	
科目番号	219	科 目 名	番組制作論			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	金田 和樹			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	通期	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	講師作成資料			参考書			
成績評価	筆記試験及び番組企画書などの課題提出物 60%、平常点や授業への貢献度 40%						

1. 授業概要

番組制作において実践的な技術や注意すべきこと、視聴者、出演者、スタッフ、撮影に関わる人との意思疎通のとり方を習得する。

2. 到達目標

映像業界に就職するにあたり、知っておくべき番組制作の手順と慣習を身に付ける。

3. 授業計画

前期	
1	制作・演出の仕事
2	○演出・脚本・演技について
3	〃
4	〃
5	○現場スタッフ各パートの役割・プロの現場について
6	〃
7	〃
8	○脚本から演出する作法
9	〃
10	〃
11	○作品研究
12	〃
13	〃
14	ディベート①
15	ディベート②
16	ディベート③
17	撮影現場についてレポート作成
後期	
1	○作品研究
2	〃
3	〃
4	学園祭準備
5	卒業制作準備①
6	〃 ②
7	卒業制作撮影
8	〃
9	〃
10	〃
11	〃
12	〃
13	〃
14	〃
15	〃
16	卒業制作レポート作成
17	後期期末試験

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	220	科 目 名	ドラマ演出論			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	小中 和哉			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	通期	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	各課題のレポートを総合して評価する。						

1. 授業概要

実際の映像作品を題材に、撮影する際に必要とされる基本的な演出方法を習得できる。

2. 到達目標

演出業務に関わるメンバーとの意思疎通が円滑に出来るようになる。自分の狙いを言語化できるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	実習作品脚本作成（1分版）
2	実習作品脚本作成（短編版） 1
3	実習作品脚本作成（短編版） 2
4	実習作品脚本作成（短編版） 3
5	作品 1 上映＋解説
6	（試験対策授業）
7	（試験対策授業）
8	作品 2 上映＋解説
9	卒業制作企画書
10	卒業制作企画書
11	卒業制作企画書回し読み
12	作品 3 上映
13	作品 3 上映＋解説
14	作品 4 上映
15	作品 4 上映＋解説
16	作品 4 上映
17	作品 4 上映＋解説
後期	
1	作品 5 上映
2	作品 5 上映＋解説
3	作品 6 上映＋解説
4	作品 7 上映
5	作品 7 上映＋解説
6	作品 8 上映
7	作品 8 上映＋解説
8	卒業制作撮影
9	卒業制作撮影
10	卒業制作撮影
11	卒業制作撮影
12	作品 9 上映
13	作品 9 上映＋解説
14	作品 10 上映
15	作品 10 上映＋解説
16	作品 11 上映
17	作品 11 上映＋解説

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	放送映像学科
科目番号	221	科 目 名	ENG 番組制作実習 I		科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	橋本 弘行 斉藤 みゆん		履修区分	
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態
教 科 書				参考書	実習	
成績評価	試験 80%（筆記 50%・実技 50%）、その他課題評価 20%					

1. 授業概要

主にロケ収録に於ける ENG カメラ・音声機材・照明の取り扱い方法を総合的に理解し、企画・演出・撮影進行に於ける制作分野も総合的に理解する。

2. 到達目標

習得した技術により、自主的に企画を立案し番組制作ができるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	自己紹介、1 年次履修内容の復習 (カメラ知識、音声知識、照明知識)
2	1 年次の総復習 (カメラセッティング、レンズの特徴、被写界深度、音声入出力、照明種類・色温度)
3	インタビュー撮影①練習 (撮影方法、カメラワーク、照明の当て方、マイクの設置法)
4	インタビュー撮影②実践 (校内ロケ撮影実習)
5	テーマに合わせた撮影方法① テーマ・被写体決め・実践 (校内ロケ撮影実習)
6	その他の撮影方法①インサート撮影 (湯気の出る食品の照明の当て方、画角サイズ、構図)
7	自分たちで企画から撮影まで① a,企画打ち合わせ
8	b,撮影準備
9	c,撮影
10	d,撮影予備日
11	撮影後のプレビュー・講評
12	自分たちで企画から撮影まで② a,企画打ち合わせ
13	b,撮影準備
14	c,撮影
15	撮影後のプレビュー・講評、試験前説明等
16	前期期末試験① (筆記試験)
17	前期期末試験② (実技試験)

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	222	科 目 名	ENG 番組制作実習Ⅱ			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	橋本 弘行 斉藤 みゆん			履修区分	
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書				参考書			
成績評価	試験 80%（筆記 50%・実技 50%）、その他課題評価 20%						

1. 授業概要

前期授業で習得した技法などを用いて、自主的に企画立案しより実践的な撮影技法を習得する。

2. 到達目標

習得した技術により、自主的に企画を立案し番組制作ができるようになる。

3. 授業計画

後期	
1	前期期末試験解説
2	ロケ撮影実習①打ち合わせ
3	打ち合わせ
4	打ち合わせ予備日
5	撮影準備
6	撮影準備
7	撮影
8	撮影予備日
9	卒業制作の撮影①
10	卒業制作の撮影②
11	卒業制作の撮影③
12	ロケ撮影実習②打ち合わせ
13	撮影準備
14	撮影
15	ロケ機材総合復習、試験前説明
16	後期期末試験①（筆記試験）
17	後期期末試験②（実技試験）

科目の教育目標・授業計画 「2025年度」

科目の教育目標・授業計画					「2025年度」		学 科 名	放送映像学科
科目番号	223	科 目 名	ノンリニアエディティングⅠ			科目区分	専門科目	
科 目 群	専門	担当講師	原田 千夢			履修区分	必修	
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	実習	
教 科 書	なし			参考書	なし			
成績評価	課題編集作品 70%、平常点 30%							

1. 授業概要

1 年次に学んだノンリニア編集の基本操作の復習や、新たな機能の練習を行い、2 年次撮影素材の編集を行う事でより高度な編集技術を習得する。

2. 到達目標

編集業務に於いてより実践的な編集処理が出来るようになる。

3. 授業計画

前期	
1	龍踊り課題①：素材の確認、ビンの振分け・サブクリップ作成
2	〃 ②：編集の基本操作復習、トリミング、カットの移動、一括編集 P2・microSD の取り込み
3	〃 ③：スプリット編集や、音の編集 TFX：基本操作
4	〃 ④：カラーコレクション、モーションエフェクト、タイトルツール TFX：キャラクター作成
5	〃 ⑤：ステップイン・アウト操作、ビクチャーインエフェクト、エクスポート設定 TFX：ロゴ作成
6	TFX：ワイプ・吹き出しテロップ作成・テロップ変換
7	入学式素材素材のデジタイズ・トラッキング操作・
8	入学式素材：素材のデジタイズ、トラッキング操作、デジタルカット、画面の合成
9	オープンキャンパス動画の編集①：デジタイズ
10	〃 ②：各自で編集
11	〃 ③：各自で編集 TFX：サイドテロップ作成
12	〃 ④：白完パケ、テロップ入れ TFX：説明テロップ作成
13	〃 ⑤：完パケエクスポート：MA 用 AAF/OMF
14	〃 ⑥：QuickTime(課題提出用)
15	実技テスト
16	編集技術総合実習①
17	編集技術総合実習②

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	224	科 目 名	ノンリニアエディティングⅡ			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	原田 千夢			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	なし			参考書	なし		
成績評価	課題編集作品 70%、平常点 30%						

1. 授業概要

撮影実習で撮影した素材を用いて各自で編集を行い、作品として完成できる技能を習得する。
--

2. 到達目標

Avid の操作習熟により、実践的な編集処理が出来るようになる。

3. 授業計画

後期	
1	動画の合成①
2	動画の合成②
3	動画の合成③・他学生の作品を見てお互いに評価
4	スタジオ・ENG 素材の編集：素材の取り込み
5	スタジオ・ENG 素材の編集：素材の確認
6	スタジオ・ENG 素材の編集：粗編集
7	スタジオ・ENG 素材の編集：粗編集 TFX：素材に沿ったテロップ作成
8	スタジオ・ENG 素材の編集：白完 TFX：素材に沿ったテロップ作成
9	スタジオ・ENG 素材の編集：音楽つけ TFX：素材に沿ったテロップ作成
10	スタジオ・ENG 素材の編集：完成、提出
11	ENG 撮影素材：素材の取り込み、カラーコレクション、エンドロールの作成
12	ENG 撮影素材：提出用 QuickTimeMovie 作成
13	卒業制作・2 年間まとめ作品：編集
14	卒業制作・2 年間まとめ作品： //
15	卒業制作・2 年間まとめ作品：MA 用書き出し AAF・QuickTimeMovie
16	卒業制作・2 年間まとめ作品：MA 音戻し
17	編集技術総合実習

科目の教育目標・授業計画「2025年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	225	科 目 名	総合演習			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	小中 和哉、金田 龍、高橋 厳 他			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	6	授業形態	演習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点 40%授業への貢献度 40%、制作レポート評価 20%						

1. 授業概要

講師、もしくは学生が作成した脚本をもとに講師が実際の演出を行い、学生は各パートの職種に分かれて撮影、編集を行い実際の制作プロセスを理解する。その後学生が講師の指導により演出も含めて全ての業務プロセスを行い、より自主的な制作能力を習得する
--

2. 到達目標

テレビ番組、映画の制作で使われる脚本、画コンテ、スケジュール表などの作成が出来るようになる。 編集志望の学生はドラマの編集を中心に編集テクニックが上達する。 音声・MA希望の学生には別に時間をとり上達を目指す。

3. 授業計画

前期	
1	現場の進め方講座、段取り実習（模擬撮影）「山小屋」
2	撮影実習「山小屋」、撮影素材取り込み・編集
3	実習作品「その①」：準備・打ち合わせ
4	実習作品「その①」：撮影
5	実習作品「その①」：編集・MA
6	「その①」予備日
7	「山小屋」上映・講評会、「その①」上映・講評会、「その②」準備・打ち合わせ
8	実習作品「その②」：撮影、素材取り込み、編集
9	実習作品「その②」：撮影、素材取り込み、編集
10	実習作品「その②」：撮影、素材取り込み、編集
11	実習作品「その②」：編集・MA
12	実習作品「その②」：編集・MA
13	「その②」予備日
14	「その②」上映・講評会、卒業制作作品のプレゼン、投票、班分け希望調査
15	卒業制作作品の班分け調整、脚本・シナリオ打ち合わせ
16	卒業制作作品の班分け調整、脚本・シナリオ打ち合わせ
17	卒業制作作品の班分け調整、脚本・シナリオ打ち合わせ

科目の教育目標・授業計画「2025年度」					学 科 名	放送映像学科	
科目番号	226	科 目 名	卒業制作			科目区分	
科 目 群	専門	担当講師	小中 和哉、金田 龍、高橋 厳 他			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	3	授業形態	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点 40% 授業への貢献度 40%、卒業制作レポート評価 20%						

1. 授業概要

2 年間の集大成として班ごとにオリジナルの作品を学生主体により制作する

2. 到達目標

映像作品の企画から完成まで全てのプロセスを学生自身で実施できるようになる。

3. 授業計画

後期	
1	卒業制作脚本打ち合わせ、制作打ち合わせ
2	卒業制作脚本打ち合わせ、制作打ち合わせ、前期祖総合演習実習作品「その②」上映、講評会
3	卒業制作全体打ち合わせ、卒業制作撮影準備（ロケーションハンティングなど）
4	卒業制作全体打ち合わせ、卒業制作撮影準備（必要なものの手配など）
5	卒業制作撮影準備全般（衣装合わせ、台本読み、各種申請等）
6	卒業制作撮影準備全般（衣装合わせ、台本読み、各種申請等）
7	卒業制作撮影準備全般（リハーサル、動き確認）
8	卒業制作撮影準備全般（リハーサル、動き確認）
9	卒業制作の撮影
10	卒業制作の撮影
11	卒業制作の撮影
12	卒業制作の撮影
13	卒業制作の撮影（予備日）、編集
14	編集、ラッシュ（プレビュー）
15	編集・MA
16	編集・MA
17	上映講評会